

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積	出荷見込み		12月のピーク(%)			主産地
				期間	ha	出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬	
				(ピーク)	(前年比)	千本	千本				
さくら	山形	促成	啓翁桜	12~4月 (12/下~3/上)	223.0 (101%)	160 (100%)	120 (90%)	0	5	95	県内全域
バラ	茨城	施設	サムライ08, アヴァランチェ, パリ, アリシア, アイリーン他	周年	11 98	200	150	30	35	35	土浦市, 石岡市, かすみがうら市, つくば市 他
	山梨	周年	ローテローゼ, サムライ等	周年 ()	2.5 0.66	280 0.97	260 1	35	35	30	笛吹市 (御坂町)
	静岡	施設	サムライ アヴァランチェ パリ シンディ	周年		1200 1	1100 1	35	30	35	JALみず JA大井川 JA掛川市 JA遠州夢咲
	愛知	周年	サムライ08 レッドスター アヴァランチェ シンディ フレアー 他	4-3月 ()	-- (%)	2500 1.03	1400	30	35	35	愛知みなみ ひまわり 豊橋 西三河
	大分	周年	Mシリーズ Jシリーズ その他各品種	周年 ()	8 (100%)	220 (90%)	70 (90%)	3000%	4500%	2500%	玖珠九重 九重町飯田

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
ストック	山形	<ul style="list-style-type: none"> ・生育は9月が平年より低温で経過した影響により全般に花芽分化が進んだ。 ・10月以降も好天日が多く、11月上旬が平年より高温となったため、開花が進んだ。 ・12月の出荷量は、前倒し出荷の影響により前年より少ない見込みである。 	<p>現状</p> <p>主力の山形の庄内地方中心に前進開花で推移し、20日頃までは大きな減少はない状況。相場も昨年と比べて@30近く開きも出ており相場は入荷量が大きく減らない限り、厳しい展開は続く。</p> <p>見通し</p> <p>大田花き 山形は2週目以降徐々に減り、中旬頃端境になる見込み。千葉産の生育は現時点では概ね順調であり、山形の足りない分は千葉産で補っていく見込み。 900,000本 @85</p> <p>FAJ 前倒し出荷の影響で東北もの入荷量減少する予想。 千葉の年明け分が月後半の主力に。</p> <p>東日本板橋花き</p>
	福島	<p>気象条件良く生育は前進傾向。11月の出荷本数は前年対比130%。(11/上旬実績)</p> <p>今後も12月計画分の前倒し出荷は止まらず12月の出荷量は数量減の見込み。また、加温している産地も少ないため、冷え込みが強まれば更に数量は減少しそう。</p>	<p>世田谷花き 山形・福島などからは残り少なく全体として入荷少なくなりそう。</p>
	千葉	<p>①生育、開花が数週間前進しており、12月の出荷分までは草丈がやや短めとなる見込み。台風の影響を受けた施設もあるが、出荷が前倒しとなっているため、今月の出荷量への影響は少ない。</p> <p>②南房地区の作付は、スタンダードはアイアン系（初付、チェリー、ピンク他）中心、スプレーはカルテット（初付、チェリー他）中心で一部シヤンテ。</p> <p>神戸地区の作付は、スプレー中心（ほぼ全てｶﾙﾃｯﾄ系）。</p> <p>西俣地区の作付は、スタンダード系中心（うち8割がアイアン系）。</p>	<p>第一花き</p>
		<p>①生育は順調に推移し、平年並みの出荷を予定。</p> <p>②スプレー系カルテットシリーズ（チェリー、ホワイト、マリン主体）</p>	
アルストロメリア	山形	<ul style="list-style-type: none"> ・生育は8月中旬～9月に平年より低い温度で経過し、10月以降好天日が多かったため、順調に推移している。 ・12月の出荷量は、前年よりやや多いと見込まれる。 ・病害虫の発生は少なく、品質は良好である。 	<p>現状</p> <p>気温の上げ下げがあるものの、各産地増加傾向が続いている。ピンク、赤、オレンジ、紫など色もの中心に引き合いが集まるものの、白系は引き合い弱く低調な取引となった。</p> <p>見通し</p>
	長野	<p>本年は残暑がほぼ無かったことから、生育は順調で、昨年に比べて前進傾向となっている。年内出荷のウェイトを高める為の加温等の徹底により、年末需要期まで安定した出荷となる見込み。</p>	<p>大田花き 気温の低下に伴って、咲き足は鈍るが生育は順調で、数量は減少しない見込み。年末需要に向けて、引き合いも強くなる見通し。 520,000本 @90</p> <p>FAJ 年末に向けて需要高まり堅調な相場展開に。 数量もまとまり、安定した入荷となる予定。</p>
			<p>東日本板橋花き 愛知中心の入荷、年末は、昨年より若干多い。</p> <p>世田谷花き 花持ち良くなり、業務中心に引き合い強まる。</p> <p>第一花き</p>

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
さくら	山形	・促成は例年どおり12月上旬から本格化し、年内出荷は下旬から本格化すると見込まれる。花芽の着生は概ね良好である。 ・出荷量は、スリーブ出荷の定着によりほぼ前年並みが見込まれる。	現状 見通し
			大田花き FAJ 東日本板橋花き 世田谷花き 第一花き
バラ	茨城	・生育は、概ね順調で平年並みの出荷が見込まれる。	現状 見通し
	山梨	昨年より3日遅い。 生育は順調であるが、うどんこ病の発生が少し見られる。	大田花き FAJ 東日本板橋花き
	静岡	現状、ピークを過ぎ少なめの出荷となっているものの、来月に向けては順調な生育となっている。 一部の産地ではボトの被害が見られるため、温度設定も含め注意するように呼び掛けている。	大田花き FAJ 東日本板橋花き
	愛知	・12月の出荷量は昨年をやや上回る見込みで、特に中下旬にかけて出荷量が増加する見込みとなっているため、ある程度需要期に出荷のピークを迎えられると思われる。 ・生育状況は、秋口の気温が低い傾向にあったため、例年よりも早い時期から品質の改善が見られる。	世田谷花き 第一花き
	大分	施設内加温は9月末より開始しているが、湿度がやや高く、一部において品質への影響が見られる。荷中気温も低いため開花も鈍く、月間を通じて出荷は少ない見通し。	3連休前は婚礼需要等の引き合いが強いが、それ以外は昨年に比べ弱い状況。中旬以降、冷え込みの影響で減少傾向となった。 クリスマスに向けて赤系中心の引き合いとなる見込み。国産は加温の状況次第では減少する可能性がある。 @85 前半は需要少なく厳しい相場も予想されるが、後半は年末・クリスマスなどイベント需要で回復。 クリスマス年間需要中心の動き入荷量は横ばい 赤系中心に動く見込み。正月商材との兼ね合いもありセリ場は弱保合。

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
トルコギキョウ	静岡	生育の遅れから徐々に数量は増加しているが、まだ本格的な出荷はできていない。来月遅れた分が出てくるが、生産者減少による作付減などもあり、急増はない見込み。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">現状</div> 主力の福岡が作型を変えている部分と静岡の生育遅れもあり昨年よりやや少な目の状況。中旬以降熊本、高知、大分と出始め、ある程度安定した入荷。販売面では大きく相場を崩すことなく連休のプライダル需要には活発な動きも見られた。
	福岡	昨年に比べ緩やかな増加で平均的な出荷となっており、12月上中旬まである程度の出荷量は残ると思われるが、天候も冬型になるため数量は減少し少量のダラダラ出荷となる見込み。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">見通し</div> 大田花き 静岡、熊本、高知、長崎、大分中心に安定出荷が見込まれる。台湾産は昨年のような生育遅れは無く、年末へ向け増加の見込み。販売面では前半厳しい状況が見込まれるが、年末、年始需要を中心に例年同様活発な取引が見込まれる。
	熊本	前進化で数量が少なかった昨年と比べ、12月の出荷量は安定して潤沢にあると思われる。中旬ごろ数量増える。また、品質的にも良好である。	FAJ 九州や静岡など徐々に出荷量増量する見込み。まとまった入荷が予想される。 東日本板橋花き 今後の気温、天候により生育前後してくるが、好天が続けば数量は集まる。 世田谷花き 全体の入荷量は減るものの、熊本・高知・台湾などから各色入荷。
	大分	全体的に遅れ気味の生育であったが11月下旬で県内産地出そろい、12月は増加となる。生育上の問題もなく、月間を通じて安定的な出荷となる見込み。	第一花き
小ギク	沖縄	台風の被害により当初の作付面積から1割程度の減少が予想されるが、その後は順調に回復しており秀品率の大幅な低下はない見通し。配色割合は黄：白：赤＝35：37：28となっている。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">現状</div> 産地の切り替わりに入り、上・中旬については不安定な入荷、単価高市況となった。下旬以降は、沖縄中心に入荷量が増え単価面も落ち着き始めるも、色バランスに偏りがあり、色物については、引き合いは強い状態を保った。
			<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">見通し</div> 大田花き 年末需要中心の動きとなるので、上中旬に関しては引き合いやや弱めで推移する見込み。中下旬に掛けた年末需要の本格的な引き合いとなる見込み。 FAJ 年末に向けてまとまった出荷が続く見込み。しかし、台風の影響で予定より少ない入荷の可能性もあり。 東日本板橋花き 年末年始需要中心 世田谷花き 若干、台風の影響がある種だが、大幅な入荷減にはならない模様。 第一花き